



# 財部小学校 校舎改築事業

## 財部小学校

老朽化した管理教室棟と普通教室棟を改築します。  
事業費は全体予算 6 億 9,008 万 5 千円の 2 ヶ年事業です。

3月定例会は、2月27日に開会し、3月27日に閉会しました。

定例会では、平成21年度当初予算や平成20年度予算の補正に関するもの、また曾於市まちづくり基金条例の制定他44件、機構改革により平成21年4月1日から部制を廃止し、課制へ移行することに伴い、曾於市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定に関する発議1件が審議可決・採択され、敬老祝金支給方法についてのアンケート調査を求める陳情1件が不採択となりました。

# 平成21年度一般会計予算

# 199億5,700万円

## 前年対比 2.2%(4億4,300万円)の減

### ◎当初予算

(賛成多数 可決)

本年度の一般会計予算は、7月に市長選挙が行われることから骨格予算ということもあり、平成20年度当初予算に対して、4億4,300万円2.2%減の199億5,700万円です。

歳入で市税は、景気低迷による法人税の減額、家屋の評価替えによる固定資産税の減額により、4.4%減の29億2,352万円。地方交付税(普通交付税)は2.7%増の81億5千万円、県支出金は肉豚生産効率化事業補助金により、31.2%増の15億8,191万円、繰入金は財源不足を補填するための財政調整基金や国営畑地帯整備事業負担金、償還のための土地改良基金等の基金繰り入れの減額に

より、59.8%減の6億5,016万円、市債は5.5%増の30億6,350万円、公営住宅建設事業、地域振興住宅建設事業、財部小学校校舎改築事業などの大型事業やまちづくり基金造成が主なものです。

歳出では、人件費は特別会計の各会計で計上したことにより、7.5%減の37億8,883万円、物件費は4.0%増の23億7,884万円、維持補修費は4.7%減の2億5,235万円、扶助費は2.1%減の28億1,475万円、補助費等は3.8%増の24億889万円、公債費は4.2%減の32億8,633万円、また積立金はまちづくり基金造成のため7.6%増の5億694万円、繰出金は特別会計の人件費相当額を特別会計に繰り出すため12.5%増の14億7,351万

円、普通建設事業は公営住宅建設事業、地域振興住宅建設事業、財部小学校校舎改築事業及び肉豚生産効率化事業を実施しますが、国営畑地帯水源整備事業負担金の減額により20.3%減の30億1,239万円となりました。

### ◎条例

☆曾於市まちづくり基金条例の制定について

(全会一致)

本条例は、合併時に策定した曾於市まちづくり計画の財政計画に基づいて新たに基金を創設し、その財源として平成17年度から平成26年度まで適用される合併特例債を充当するため制定するものです。

国の低金利等を考慮した見直しにより元金も使用可となり、本市の財政計画変更後の起債ベース分(合併特例債)129億円のうち、基金への積立上限は20億6千万円です。一般会計を含んで21

年、22年度各5億円、23年度4億円の合計14億円を積み立てるものです。

☆曾於市地域振興住宅条例の制定について

(賛成多数 可決)

この条例は、曾於市内に市外からおおむね40歳以下の夫婦で子どもがいる、または見込みのある方に対して希望者を募り、市が住宅を建設するものです。

反対理由としては、次のような意見が出ました。この制度は農村部の生徒数を増やすための良い制度です。しかし、今回提案された住宅の家賃は、新居入居なのに、同じ敷地内にある市営住宅(活性化住宅)より1ヵ月1,700円も安くなっています。同じ目的で造られた住宅が古い住宅よりも安いというのは整合性がない、入居者にとっては安いのは良いことだが公平性に欠けています。

## パドック式牛舎建設支援 1,500万円

約10頭規模以上、20頭規模以上のパドック牛舎を建設する農家に、1戸当たり30万円と100万円を限度に補助します。



## 曾於市ブランド確立推進事業 500万円

曾於市で生産される農畜林産物の全国へのPR、流通ルート拡充と消費拡大を図ります。



道の駅すえよし 四季祭市場

## 第3子以降保育料軽減、妊婦検診補助 3,941万7千円

第3子以降の保育料を助成し、子育てに係る経済的負担を軽減します。妊婦一般検診費を14回分補助します。



# クローズアップ 新年度予算

## 地域振興住宅建設事業 1億1,459万3千円

少子高齢化が進む地域が活性化するように、住宅を建設します。



財部町中谷団地

## 財部坂元地区宅地分譲整備事業 4,497万1千円

財部坂元地区に40区画を造成します。



# 平成21年度一般会計 199億5,700万円はこのように使われます

☆市民サービスのために	28億3,336万6千円	☆生きがいと健康のために	67億7,121万9千円
議会費	2億570万3千円	民生費	53億7,740万円
総務費	26億2,766万3千円	衛生費	13億9,381万9千円
☆豊かな暮らしのために	22億1,675万5千円	☆くらしと安全のために	28億3,338万2千円
労働費	483万8千円	土木費	21億1,663万円
農林水産業費	20億5,717万7千円	消防費	7億262万6千円
商工費	1億5,474万円	災害復旧費	1,412万6千円
☆文化と教養のために(教育費)	19億9,594万7千円	☆返済のために(公債費)	32億8,633万1千円
☆備えのために(予備費)	2,000万円		

会計名		21年度	20年度(当初予算)	前年対比	被保険者数
一 般 会 計		199億5,700万円	204億円	△2.2%	
特 別 会 計	国民健康保険	58億1,306万8千円	56億1,869万2千円	3.5%	14,112人
	老人保健	6,428万3千円	8億603万2千円	△92.1%	
	後期高齢者医療	5億974万3千円	5億1,675万9千円	△1.4%	8,114人
	介護保険	43億4,977万4千円	43億1,350万2千円	0.8%	14,014人
	公共下水道事業	3億8,779万9千円	4億6,720万円	△17.0%	
	生活排水処理事業	1億1,275万2千円	1億3,439万1千円	△16.2%	

◎特別会計  
 ☆平成21年度曾於市国民健康保険特別会計予算  
 (賛成多数 可決)  
 本年度から関係職員の人件費を全額計上して、35%の増です。  
 ☆平成21年度曾於市老人保健特別会計予算  
 (賛成多数 可決)  
 医療諸費は20年度分の精算に伴う償還金等をわずかに計上しました。  
 ☆平成21年度曾於市後期高齢者医療特別会計予算  
 (賛成多数 可決)

◎水道事業会計

項目	21年度	20年度	前年比
収益的収入	5億4,955万2千円	5億3,815万3千円	2.1%
収益的支出	4億5,709万7千円	4億9,505万5千円	△7.7%
資本的収入	1億5,880万円	2億5,870万円	△38.6%
資本的支出	5億778万9千円	4億7,244万2千円	7.5%

◎陳情  
 ☆川内原発3号機増設反対の陳情書 (継続審査)  
 文教厚生常任委員会に付託、継続審査となりました。  
 ☆敬老祝金支給方法についてのアンケートを求める陳情書 (不採択)  
 文教厚生常任委員会に付託し、審査が終了し賛成少数により不採択、本会議で反対多数により不採択となりました。  
 ※詳しくは15P参照

◎陳情  
 ☆平成21年度曾於市水道事業特別会計予算  
 (賛成多数 可決)  
 生活環境の改善と公共用水域の水質汚濁防止を目的に末吉町地区で取り組まれた事業です。  
 ☆平成21年度曾於市公共下水道特別会計予算  
 (賛成多数 可決)  
 75歳以上(65歳以上の寝たきり老人を含む)を対象とした制度で2年目に入る制度です。